

全国グラウンド・ゴルフ交歓大会 及び 全国グラウンド・ゴルフレディス交歓大会 荒天時対策指針について

公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会

平成 23 年 8 月 23 日

1. 荒天時対策指針の目的

全国グラウンド・ゴルフ交歓大会及び全国グラウンド・ゴルフレディス交歓大会の荒天時における大会実施の可否の判断や、実施した場合の順位決定等の基準などを定め、大会の適正かつ円滑な運営を図るとともに、参加者の健康管理・安全管理に万全を期すことを目的とする。

2. 荒天時の大会実施等の判断

(1) 大会の中止

- ・大会当日の朝、プレーヤーの健康・安全に大きな影響を及ぼすと判断される状況にある場合（雷、豪雨、暴風、地震などの自然災害や、熱中症発生の危険性が高い場合など）、主催者は関係者と協議のうえ大会の中止を決定する。
- ・この場合、各都道府県協会の責任者等にその日の対応について速やかに連絡する。

(2) 大会の中断

- ・プレーヤーの健康・安全に大きな影響が生じると判断した場合（雷、豪雨、暴風、地震などの自然災害や、熱中症発生の危険性が高い場合など）、主催者は関係者と協議のうえ大会の中断を決定する。
- ・この場合、プレーヤー等にその後の対応について連絡する。

3. 荒天時に大会を行う場合における留意事項

(1) スコアカードは、必ず耐水用（雨天用）を使用する。

なお、プレーが中断、再開した場合に備え、予備のスコアカードを準備する。

(2) 開催要項通りにプレーできなかった場合の順位決定は次により取り扱うが、まとめると別表のとおりである。

A 1 日目の第 1 ラウンドはプレーできたが、その後はプレーできないと判断した場合

- ・1 ラウンドの結果で成績を決定する。
- ・グループごとに、各コースの上位者により入賞範囲内でプレーオフを行う。
同じコースを回る予定のグループごとにそれぞれ回ったコース別の上位 3 位までによりグループ最終順位を決定する。
コース 1 位者 2 名でグループ 1 位と 2 位を決定する。
コース 2 位者 2 名でグループ 3 位と 4 位を決定する。
コース 3 位者 2 名でグループ 5 位と 6 位を決定する。

- B** 1日目の第1ラウンドを途中で中止し、その後もプレーできないと判断した場合
- ・成績は決定しない。
- C** 1日目の第1ラウンドを途中で中止し、第2ラウンドもプレーできる状況にないが、2日目はプレーできると判断した場合
- ・2日目の交流大会を中止して交歓大会とし、1ラウンドのみを行って成績を決定する。
 - ・順位決定は上記（A）と同様とする。
 - ・この場合、可能な限り開始時間を前倒ししてゲームを行うものとし、都道府県協会の責任者及び参加者等への周知徹底を図る。
- D** 1日目の第1ラウンドはプレーできたが、第2ラウンドはプレーできなかった場合で、2日目のプレーはできると判断した場合
- ・2日目の交流大会を中止して交歓大会の第2ラウンドとし、第1ラウンドと第2ラウンドの合計で成績を決定する。順位決定は開催要項に定めた方法による。

(別表) 開催要項通りにプレーできなかった場合の順位決定

事例	1日目 (交歓大会)		2日目 (交流大会)	順位決定
	1ラウンド [※]	2ラウンド [※]	3ラウンド [※]	
A	○	×	×	1ラウンドの結果で順位決定を行う。
B	×	×	×	順位決定は行わない。
C	×	×	○	交流大会は中止し交歓大会とする。 1ラウンドの結果で順位決定を行う。
D	○	×	○	2日目は交歓大会第2ラウンドとする。 要項通り順位決定を行う。

※1 ○は全員がプレーした場合、×は全員がプレーできなかった場合を示す。

※2 ラウンドの途中でゲームを中止した場合、そのラウンドはノーゲームとする。

4. プレーオフの実施方法

プレーオフは別紙「プレーオフの実施指針」に基づいて行う。

5. その他

- (1) この指針に基づく処理ができない場合は、主催者が関係者と協議して決める。
- (2) 荒天時等の特別の事情が生じた場合、閉会式は中止することができるものとし、賞状等の発送をもって表彰に代える。
- (3) ブロック交歓大会についても、本荒天時対策指針に準じて行うことが望ましい。

(別紙)

全国グラウンド・ゴルフ交歓大会 及び 全国グラウンド・ゴルフレディス交歓大会 プレーオフの実施指針について

公益社団法人日本グラウンド・ゴルフ協会

平成 23 年 8 月 23 日

1. プレーオフ実施指針の目的

全国グラウンド・ゴルフ交歓大会及び全国グラウンド・ゴルフレディス交歓大会におけるプレーオフの実施指針を定め、大会の適正かつ円滑な運営を図ることを目的とする。

2. プレーオフの実施方法等

(1) 入賞者の順位を決定する場合

①個人ゲーム

・該当者による 30m のニアピンゲームで行う。

②団体ゲーム

・該当チーム代表者による 30m のニアピンゲームで行う。代表者は該当チームそれぞれの最少合計打数プレーヤーとする。

(2) 文部科学大臣杯、日本協会会長杯を決定する場合

① 該当者による 4 ホール (15m、25m、30m、50m、) で行う。

② 実施するホールは、既設のものでなく、新たに設置するものとする。

③ 「①の合計打数」が同数の場合は、該当者による 30m のニアピンゲームで決定するまで行う。

3. 荒天時のプレーオフの実施方法等

主催者は、関係者と協議のうえ実施方法等を決定するとともに、都道府県協会の責任者及び参加者等への周知徹底を図る。

4. ニアピンゲームについて

ニアピンゲームの取扱いは、次のとおりとする。

①ニアピンゲームは、30mコースで行う。

②ニアピンゲームは、ホールポストに最も近い者を上位とする。

※ホールインワンをした者は、最も近い者となる。

※ホールインワンは、ホールポスト内での中心からの距離等による判定は行わない。

③ホールインワンが複数出た場合は、該当者により決定するまで行う。

5. 留意事項

(1) 2. (1) のプレーオフは、該当者間に不公平が生じないように、主催者が既設のコース又は新設のコースから適宜選定する。

- (2) 打順はジャンケンで行い、勝者に選択権があるものとする。
- (3) 定められたプレーオフ開始時間までに集合しないプレーヤーは棄権とする。
- (4) 荒天時でプレーオフを実施できない場合は、主催者が定めるジャンケン又は抽選等の方法で決定する。

6. その他

- (1) この指針に基づく処理ができない場合は、主催者が関係者と協議のうえ実施内容等を決定する。
- (2) ブロック交歓大会についても、この指針に準じて行うことが望ましい。